

## 警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県海老名警察署協議会
日 時	令和6年2月7日（水）午後1時57分から午後3時40分までの間
場 所	神奈川県海老名警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 猪熊政喜、飯塚由紀子、佐藤修一、二見隆江、高柳敦子、曾田努、坂野千幸 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 下山幸男、副署長 山川 満、警務課長 小澤可憲、留置管理課長 坂田健司、会計課長 園部貴博、生活安全課長 小島章政、刑事課長 小口真也、地域課長 江幡宏之、交通課長 松下和則、警備課長 瀬戸伸也 計10人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 諮問 「特殊詐欺の現状と未然防止対策について」</p> <p>2 答申</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 迷惑電話防止機器の貸し出し事業の推進</li> <li>・ 関係機関と連携した広報啓発活動の推進</li> <li>・ 事業所等と連携した被害防止対策の推進</li> <li>・ 若者を特殊詐欺の加害者にさせない取組の実施</li> </ul> <p>3 措置結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内で開催されたイベント会場において、特殊詐欺に関するチラシや啓発物品の配布、若年層や高齢者への声掛け及び子育て世代への注意喚起等の広報啓発活動を実施した。</li> <li>・ 自治会や茶話会において、最新の特殊詐欺だましの手口の紹介や、迷惑電話防止機器の説明を行った。</li> <li>・ 金融機関やコンビニエンスストアに対し、高齢者が高額現金を引き出そうとしたり電子マネーを購入しようとした際の声掛けを依頼した。</li> <li>・ 関係機関の協力を得て、迷惑電話防止機器を多数台購入し、署員による高齢者宅への設置を行った。</li> <li>・ 管内の小中学校や高校において、非行防止教室や特殊詐欺に関する「情報モラル教室」を開催し、注意喚起や啓発活動を実施した。</li> <li>・ 管内中学校の生徒指導担当教諭に対し、特殊詐欺をめぐる少年の現状について情報提供し、生徒指導に生かすよう依頼を行った。</li> </ul>
	諮問
	交通事故抑止対策について
	答申
<p>1 交通ルールに違反している自転車に対する指導警告の強化</p> <p>2 関係機関と連携した広報啓発活動の推進</p>	

3 幅広い世代、幅広い対象に対する交通安全教育の推進

業務説明

前四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和6年1月から3月まで）の業務推進重点について説明を実施した。

協議会からの要望・意見等

- ・ 年少者から高齢者までの幅広い年代に対し、あらゆる機会を通じた効果的な交通安全教育を実施して欲しい。また、行政機関や関連する事業所等と連携し、交通ルールに関する広報啓発活動を実施してもらいたい。
- ・ ながら運転や脇見運転等、注意力散漫な運転が事故を引き起こす原因になっていると考えられるため、指導・警告に力を入れて、そのような運転をする運転者を正してもらいたい。
- ・ 高齢で運転をすることが難しかったり、運転に不安を抱えている人が免許証を返納しやすいような環境整備が必要だと思う。制度に関しては広く広報啓発活動を行って返納しやすい環境づくりをお願いしたい。